

INTERIOR MAGAZINE

Produced by watanabe

vol.1 自分にあうアロマグッズの選びかた



甘く香る煎茶のような香りが特徴！
和室との相性もピッタリで
自宅でも愛用しています。

1 リードディフューザー

PICK UP ITEM: CULTI THE(テ) 煎茶/ベルガモット/グアヤク 250ml ¥8800 (税込)

ディフューザーは瓶に入れたアロマオイルの中にリードを挿して、リードに吸い込まれたアロマオイルが空気中で気化することで香りを広げます。お部屋にほのかに香りをつけたい方におすすめで、火をつけたりする手間なく、手軽に香りを楽しめるのがメリット。



2 キャンドル

PICK UP ITEM: Brooklyn candle studio
GOLD TRAVEL CANDLE
¥3,850 (税込)

香りだけでなく炎の揺らめきがあわさり、リラックス空間をつくるキャンドル。一度火をつけると長時間灯し続けることができ多くお部屋全体に柔らかな香りを届けます。ロマンティックな雰囲気が好きで、いつも家に漂わせたいお気に入りの香りがある方におすすめです。



3 ルームスプレー

PICK UP ITEM: Relaxin'
ファブリックミスト
100ml ¥2,420 (税込)

ルームスプレーは匂いがこもった時、掃除の仕上げ、睡眠前のリラックスタイムなど、手軽に一時的にお部屋を香り付けたい場合に最適。お友達が来る前などにも気軽に使うことができます。基本的にどんなものにもかけられますが、カーテンにスプレーすると、そよ風が吹いたときにふわっと香りGOOD!



4 お香

PICK UP ITEM: hibi
10MINUTE AROMA
¥770 (税込)

お香は煙として拡散するので、お部屋全体に香りを広げることができ、神聖な空間をつくることができます。お部屋だけでなく、カーテンや衣類などにも香りがつきやすいため、強い香りを長く持たせたい方におすすめです。

INTERIOR MAGAZINE

Produced by watanabe

vol.2 ラグ選びで意識したい3つのポイント

床の大きな部分を占めることになるラグは、フロアの傷防止にはもちろん、大きく分けて快適性や装飾性など暮らしを豊かにする「心理面」、安全性や保温性など暮らしの質を高め、より住まいやすくする「機能面」と2つのメリットがあります。今回はそんなラグの選び方をご説明します。

POINT

1 空間とのバランス

一般的に空間や家具とのサイズバランスで決めることで、すっきりとした見た目になるでしょう。さらに生活スタイルによっても選べます。

- 床派：ラグがテーブルから60cm以上はみ出るサイズが目安
- ソファ派：ソファの幅より、左右に約10cmずつはみ出るサイズが目安



POINT

2 ラグの形状

形状は、大きく分けて四角型または丸型が一般的です。特徴のある丸型は個性的で、空間とマッチすればおしゃれ度は格段にアップしますが、ほかのインテリアとのバランスを取るのが難しいことがネックです。四角型はオーソドックスではありますが、ほかのインテリアと調和しやすく、コーディネートが苦手な方でもすっきりとまとめやすいでしょう。



POINT

3 ラグの素材

季節を問わず年中快適に過ごすためには、素材選びが非常に重要です。

- ウール：防汚性や耐久性に優れていて汚れ落ちもいいですが、虫に弱い。夏は涼しく冬は暖かいため、リビングのラグなどに最適。
- コットン：天然素材ならではの、さらりとしたなめらかな質感は夏に最適。ただし、耐久性はそれほど高くない。
- ナイロン：耐久性の高さが魅力で虫にも強い化学繊維ですが、防汚性はイマイチ。丈夫なので子ども部屋のラグなどに最適。



これから家づくりを始める方は、間取りなどの確認も大切ですが、早い段階からインテリアにも目を向けるとさらに家づくりが充実します。モデルハウスなどのラグを何気に触ってみる、サイズ感の確認をするなど、まず体感してみてください。



INTERIOR MAGAZINE

Produced by watanabe

vol.3 贈り物にも最適な3,000円以下の厳選キッチンアイテム

今回は、毎日をもっと楽しく気分を上げてくれる自分用アイテムに持ちたくなるような、誰かに贈りたくなるような、3,000円以下の厳選したキッチンアイテムをご紹介します！



左からWINE&SHOCHU 270ml、
WATER 345ml、BEER 340mlの3種類



豆皿をいくつか並べて
ちよこつとずつ料理をのっけて
それをつまみに晩酌したいな～

使いたくなるアイテムをキッチン周りに揃えると気持ちが上がります。見た目も大事ですが、手に取って、触れた時に自分に合うアイテムこそ長く使える物かもしれません。最終的には、“物を大切にすること”に繋がってくると思います。

商品について、もっと詳しく
知りたい方はブログでも
紹介しています



1 テーブルに並んでいるだけで気分が上がる クチポールのカトラリー Cutipol カトラリー ¥1,050～¥3,080 (税込)

テーブルに並んでいるだけで気分を上げてくれるクチポールのカトラリーは、人間工学に基づいて、ひとつひとつ職人さんの手で仕上げられた細身の独特なフォルムで、バランスが絶妙で持ちやすく、ずっと手に馴染みます。持ち手は樹脂製でマットな質感。実は食洗機も使える優れもの（利用時に注意すべき点はあります。）自宅用にはもちろん、プレゼントにもおすすめです！

2 美味しさを追求、たどりついた1.3mm厚 HIBITOのグラス HIBITO GLASS(3種類) 各¥1,100 (税込) / 2P ¥2,420 (税込) ※箱入り

カラヴァジオ(ペンダントライト)のデザイナー、セシリエマンツさんがACTUSのためにデザインしたHIBITO(ヒビト)シリーズ。口に触れたときに心地よい薄さでありながら、不安感のない適度な厚みを持たせることにこだわったグラスは、絶妙な飲み心地を実現しています。ほどよい重さと手に馴染むくびれもつい使ってしまうポイント。家族分揃えやすい価格帯なのも嬉しい。

3 ぽってりとした質感が和食に馴染む ポルトガル食器 Maria Portugal Terracota "LINE"シリーズ ¥1,650～¥2,640 (税込)

Maria Portugal Terracota (マリア ポルトガル テラコッタ) は100年続く伝統あるポルトガルのブランド。リム(縁)がなく浅いアールがあり、テラコッタならではのぽってりとした質感で、どことなく和を感じる佇まいが、洋の料理も和の料理も引き立ててくれて、他のどんなアイテムとも合わせやすい器です。サイズは18cm、23cm、28cmの3サイズ。

4 つい集めたくなるかわいさの 和食器豆皿 古白磁 豆皿・豆鉢 ¥1,320～¥1,870 (税込)

初期伊万里の特徴を再現した「古白磁(こはくじ)」に磁器に古くから使われる呉須(ごす)という藍色の顔料で絵付けをした「古染付(こそめつけ)」の豆皿。素朴で趣のある白い磁肌に藍で器に表情を出しながらも控えめな感じが、料理を盛り付けたときに素材をひきたててくれます。豆皿は収納場所も取らず、大きさが揃っていたら絵柄とか形が違っててもまとまりが出るので、いくつか揃えるのもおすすめ。

INTERIOR MAGAZINE

Produced by watanabe

vol.4 室内で育てやすい観葉植物3選

今回はおしゃれなインテリアとして、癒やしの空間を演出する観葉植物の室内で育てやすい種類と、長く育てるための水やりのコツをご紹介します。



1 シェフレラ

シェフレラは世界の熱帯から温帯に約600種が自生し、低木から高木まで、さまざまな種類があります。多くの種類は鉢植えて楽しむ、メジャーな観葉植物の一つです。

■育てやすさ

★★★★★

日陰や寒さに強く手間がかからないので、初心者の方にも育てやすく、ミニ観葉から大鉢仕立てなどで一年中楽しめます。

■水やり

年間を通して、鉢土の表面が乾いてきたら水を与えれば十分です。

■栽培環境・日当たり・置き場

耐陰性が強い植物ですが、日陰に長期間置くと軟弱になるので、半日陰くらいの場所に置き、ときどき直射日光に当てるようにします。春から秋に外やベランダに置いた株は、東京より西の地域なら冬でも外で冬越しするので、そのまま置いておいても大丈夫です。



2 モンステラ

モンステラは熱帯アメリカに分布するつる性の植物で、葉は成長するにつれ、縁から切れ込みが入ったり穴があき、独特な姿になります。これは下部の新芽の成長のため、光や風を通す役割を果たしています。

■育てやすさ

★★★★☆

モンステラは水が好きな植物ですが、大きな株になれば乾燥にも比較的強くなり、育てやすい観葉植物です。

■水やり

春～秋… 成長期は土の表面が乾燥したらたっぷりと水を与えるようにします。

冬… 気温が低くなってくると成長が緩やかになるので、表面の土が乾いて2、3日してから水をあげるようにしましょう。モンステラを乾燥させ、樹液濃度を高めることで耐寒性を上げる事ができます。

葉水… 葉水は乾燥を防ぐだけでなくハダニやアブラムシなどの害虫を予防する意味もあるので、毎日1回は霧吹きなどするようにしましょう。



3 フランスゴム

一般的なゴムの木と比べると、葉が小さいため、どんなインテリアともおしゃれに調和し、カフェやヘアサロンなどでもよく目にします。

■育てやすさ

★★★★★

生命力があり、特別なお手入れも必要としないため、初心者の方にも育てやすい品種です。

■水やり

春・秋… 気温が15℃以上ある春から秋にかけては、手で土を触って水分を感じなくなったら（鉢の中央部分までしっかり乾いてから）水をたっぷりあげてください。

夏… 夏場は水切れをおこしやすいので、表面が乾いている場合は一日に2回たっぷりあげるようにしましょう。

冬… 15℃以下になると成長スピードが緩やかになるので、土が乾いて2、3日してから、水をあげるようにしましょう。

植物は、お部屋の雰囲気良くできるアイテムです。種類やサイズが色々あり、自分好みの植物でインテリアを充実させることができます。また植物が成長していくのを楽しむこともできます。今回掲載した観葉植物や、他にも紹介しきれなかった観葉植物を詳しくブログでも紹介しています。



INTERIOR MAGAZINE

Produced by watanabe

vol.5 小さなグリーンの上質な飾り方

今回は、育てる楽しみはもちろん、飾って、眺めて、楽しめて、気軽にお迎えできる“小さなグリーン”の上質な飾り方についてご紹介します。

1/ インテリアグリーンと小物を合わせる

ポツンとひとつだけではなんか寂しい。そんなときは、植物と小物を使って飾ってみましょう。

いくつかのアイテムを使い飾っていく時は三角形を意識するとまとまりが出ます。頂点（高い位置）を決め、三角形を意識して高低差がつくように並べていきます。



高さを出すために、本を横置きするのがおすすめ。上に置くだけで高さを出せ、高さの調節も簡単です。



2/ 小さなグリーンは集めて置く

これから植物を迎えたいと思っている方には気に入ったものを少しずつ増やすのではなく、思いきって4~5つくらい買うのもおすすめ！

植物は形も質感も一つひとつ異なるので、小さな植物をまとめて飾ると単体で飾るよりも印象的な空間に仕上がります。



“見た目のバランス”を意識するとGood！種類や背丈・大きさがバラバラなものを選んだり、同じ品種なら異なる鉢に植え替えたり、ランダムに並べることで、立体感と深み生まれます。



3/ 雑貨のように楽しめるエアプランツを試す

土がいらないというユニークな特性をもつエアプランツは雑貨のように植物を楽しめます。

エアプランツは、土や植え替えが不要で空気中の水分を吸収して育ち、週に1~2回霧吹きでお水をあげるだけなので、自由に飾って楽しめるのが魅力のひとつ。

小さなサイズだと扱いやすいものが多く、気軽にお迎えすることができます。植物を育てていく楽しみはもちろん、小物と合わせて飾ったり、飾る場所を変えたりとインテリアとしての植物を眺めて楽しめます。ぜひ、お気に入りの植物をお迎えして植物のある暮らしを楽しんでください。小さなグリーンの飾り方について、ブログでさらに詳しく紹介しています。



INTERIOR MAGAZINE

Produced by watanabe

vol.6 憧れの北欧の名作チェアを自宅に!

名作と呼ばれる家具が北欧に多く存在するのは、北欧の冬が寒いだけでなく、日照時間が短く、暗くて長い夜を家の中で、家族と一緒に心地よく過ごすため。そのため、長く愛用できる飽きのこないデザインと機能性を兼ね備えた数々の名作家具が生まれました。今回は、そんな北欧チェアを代表とする名作チェア4選をご紹介します。

1 CARL HANSEN & SØN / CH24 (Yチェア) Design: ハンス J. ウェグナー (1950年) ¥89,100 (税込) ~

アームと背が曲木加工により柔らかく美しい曲線を描くYチェアは、造形美、座り心地・使い心地だけでなく、機能性も追求されており、座面に使われているペーパーコードは、使い込んでいくうちに少しずつ変形し、座る人のお尻の形に馴染んでいきます。

2 CARL HANSEN & SØN / CH88 Design: ハンス J. ウェグナー (1955年) ¥96,800 (税込) ~

目を引く牛のツノのような笠木は、曲木の技術を応用し1枚の無垢材を曲げ、ゆったりとしたカーブを描いています。華奢に見えますが、背もたれ部分は厚みがあり、背中を包んでくれます。



3 Fritz Hansen / 3107 セブンチェア Design: アルネ・ヤコブセン (1955年) ¥74,000 (税込) ~

座り心地とデザイン性を追及して開発されたセブンチェア。背もたれと座面は9層の成形合板で一体になっており、座ったときに背もたれがしなり、木と思えないくらい当たりが柔らかく、いい座り心地です。

4 Fritz Hansen / 3101アントチェア Design: アルネ・ヤコブセン (1952年) ¥48,400 (税込) ~

セブンチェアと同じく、背もたれと座面を一体化した成形合板で、セブンチェアよりも一回りほど小さく、場所を取りたくない方、立ったり座ったりが多い方におすすめです。



北欧チェアだけでなく、世界中にご紹介できないほど素敵な椅子が存在します!
決して安くはありませんが、見た目だけでなく、こだわり抜いた素材や使い心地、追求された機能性など、デザイナーの情熱や制作背景を知ること、愛着が湧いてきませんか?
素敵な椅子が1脚あるだけで心を豊かにしてくれます!ぜひ、自分に合った1脚を見つけてみてください!
今回の内容をブログでさらに詳しく紹介しています。



INTERIOR MAGAZINE

Produced by watanabe

vol.7 憧れの名作チェアを自宅に！第2弾

実はまだまだある名作チェア。家を建てたら、いつか一つは迎えたいと思っている方もいるのではないのでしょうか。今回は前回に引き続き、ラウンジチェア・イーgerチェア・スツールから名作チェア3選ご紹介いたします。



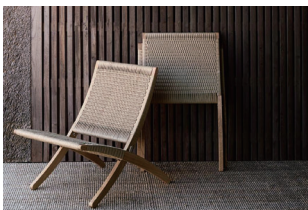
1/ CUERO / BKF チェア
Design: アントニオ・ボネッ、ファン・クルチャン
ホルヘ・フェラーリ=ハードイ
(1938年)
¥159,500 (税込) ~

“バタフライチェア”の愛称でも知られるBKFチェア。組み立てたスチールフレームの4つの先端に、革を引っ掛けただけのシンプルな構成で、体を包み込むようなハンモック状の背もたれが特徴。ベジタブルタンニングレザーで、レザー本来の触り心地や質感を楽しむことができ、使い込むほどに味わいを増し、経年変化も楽しめます。



2/ CARL HANSEN&SON / MG501 CUBA CHAIR
Design: モーテン・グッドラー (1997年)
¥102,300 (税込) ~

畳むことができるイーgerチェア。簡単に持ち運べる軽さで、好きな場所でひとりで贅沢に寛ぐスペースをつくることができます。見た目がシンプルで、畳んだ姿も美しく、普段はあえて壁に立てかけておきたくなるデザインも魅力です。



3/ WERNER / SHOEMAKER スツール
¥29,700 (税込) ~

アクタスで30年以上に渡り販売し続けているロングセラーのスツール。なんといっても魅力は、見かけると思わず腰掛けたくなる、お尻のカタチに沿うように削り出された座面。特徴的な座面は小さな工房で、木の固まりから一個一個丁寧に、手作業で削り出されています。



"ラウンジチェア・イーgerチェア"は、リビングやお部屋で心地よくくつろぐためにデザインされた一人用のチェアで、くつろぎの時間に欠かせない魅力的なアイテムのひとつです！持ち運び可能なものもあり、自分の気分や好みに合わせて移動させ、自分だけの特別な空間を作り出せます。ソファと組み合わせたり、北欧チェアを持ち寄ったり、家族や友人と楽しむこともできます！ぜひ、くつろぎのアイテムとして、ラウンジチェア・イーgerチェアを取り入れてみてください。今回の内容をブログでさらに詳しく紹介しています。

